

上十三・十和田湖広域定住自立圏第2次共生ビジョン掲載事業 進捗状況一覧表(令和2年12月末現在)  
 計画期間：平成30年度～令和4年度

| No | 事業名                   | 連携市町村 |     |      |     |     |     |      |       |     |   | 事業概要  | 会議等の開催状況<br>(令和2年度)  | 取組及び進捗状況の概要<br>(令和2年度)  | 圏域の課題等  | 令和3年度以降の<br>取組の概要  | KPI目標値   | KPI現状値<br>(R2.12月末) |
|----|-----------------------|-------|-----|------|-----|-----|-----|------|-------|-----|---|---|--|---|---|--|--|---------------------|
|    |                       | 十和田市  | 三沢市 | 野辺地区 | 七戸町 | 横浜町 | 東北町 | 六ヶ所村 | おいらせ町 | 小坂町 |   |   |  |   |   |  |  |                     |
| 1  | 上十三地域連携バス・ネットワーク協議会事業 | ○     | ○   | ○    | ○   | ○   | ○   | ○    | ○     | ○   | ○ | 地域包括ケア推進の一環として、医療資源を効果的に活用し、圏域医療を持続的に確保するため、地域連携バスの活用による患者紹介など病院間の機能分担を図り、地域医療ネットワークの充実を図る。                                     | 【令和2年度】<br>○地域橋渡しネットワーク委員会<br>・R2.8 第1回委員会<br>・R2.11 第2回委員会<br>・R3.2 第3回委員会<br><br>○在宅医療多職種連携会<br>・R3.2 第1回 会議<br><br>○地域連携バス・ネットワーク協議会<br>・R3.2 第1回会議 | 「地域橋渡しネットワーク委員会」及び「在宅医療多職種連携会」をワーキンググループと位置付け、地域連携バスの有効活用に向けた実務担当者レベルの検討を行い、「地域連携バスネットワーク協議会」において最終的な調整等を行っている。 | 平成28年度から協議会を2分科会から親会への報告形式へ変更。協議会運営は、スムーズに行われている。在宅医療の推進や各種バスの発行は、地域医療構想による病院の経営方針によることも多く、地域医療の資源活用について、より連携を深める必要がある。 | 上十三医療圏の医療と介護、診療所と施設の連携を深めるため、「橋渡し連携・バスネットワーク委員会」、「在宅医療・多職種連携会」の分科会からの報告や要望事項を踏まえて、地域医療構想に則した上十三圏域の地域医療ネットワークの会議運営の充実を図る。 | 現状の体制を維持する   | —                   |
| 2  | 十和田湖診療所運営事業           | ○     |     |      |     |     |     |      |       |     |   | 地域医療の身近な窓口として、安心した住民生活に欠かせない一次医療を担う十和田湖診療所の管理運営を行うにあたり、運営経費を負担し、運営の安定化を図る。  | 会議等の開催なし   | 十和田湖診療所の管理運営に係る経費の一部を小坂町が負担し、平日における診察を実施することにより、十和田湖畔地区住民及び観光客等へ安心して医療サービスを受け続けることができる環境体制を提供する。                | 常勤医師が令和2年12月末で退職し、非常勤医師を確保し週2日の診療体制を維持しているが、引き続き湖畔地区住民並びに十和田湖の観光客への医療提供維持のために恒常的な医師の確保が課題となっている。                        | 個別の予防接種や特定健康診査、大腸がん検診等を継続して実施するほか、安心して医療サービスを受けられることができる環境体制の維持に努める。   | 診療日数<br>現状値 (H29実績) : 2日/週<br>目標値 (R4) : 2日/週                  | 2日/週                |
| 3  | 病児・病後児保育事業            | ○     | ○   | ○    | ○   | ○   | ○   | ○    | ○     | ○   | ○ | 圏域住民に対する子育て支援の充実を図るため、病児・病後児（概ね10歳未満の急性期を経過した病中病後の児童）保育事業について、各市町村で実施する事業の充実を努めつつ、関係市町村の住民を対象を広げ、広域利用の推進を図る。                    | R3.1 書面協議  | 十和田市、三沢市、七戸町、おいらせ町、六ヶ所村において病児・病後児保育事業を実施。   | —   | 実施市町村（十和田市、三沢市、七戸町、おいらせ町、六ヶ所村）において、引き続き広域でのサービスの提供と利用調整を行う。  | 実施市町村以外のサービス利用者数<br>現状値 (H28実績) : 377人<br>目標値 (R4) : 380人      | 516人<br>(見込)        |
| 4  | ファミリーサポートセンター事業の研究・検討 | ○     | ○   | ○    | ○   | ○   | ○   | ○    | ○     | ○   | ○ | 地域において、子育ての支援を受けたい方と支援ができる方を会員登録することで、会員同士で助け合う子育て支援事業「ファミリーサポートセンター事業」に関し、対象を関係市町村の住民に拡大することについて、効果的な実施方法の研究を行い、段階的に広域利用を推進する。 | R3.1 書面協議  | 十和田市、三沢市、おいらせ町におけるファミリーサポートセンター事業の情報共有を行う。  | 現在の提供会員のみでは、移動距離の関係から広域利用者への対応が困難であるため、広域的な提供会員の確保体制及び実施体制の整備を行う必要がある。  | 中心市において事業者との調整を行い、実施体制が整った市町村から順次広域利用する。   | 広域利用実施体制の整備<br>現状値 (H28実績) : 未実施<br>目標値 (R4) : 実施              | —                   |
| 5  | 保育所広域入所に関する連携         | ○     |     |      |     |     |     |      |       |     |   | 隣接する区域において、児童の住居地以外の保育所の広域入所を推進する。  | R3.1 書面協議  | 町内会が運営する託児所において、広域利用の受入を行う。   | —   | 町内会が運営する託児所において、広域利用の受入を行う。  | 保育所広域入所の届出があった際の受け入れ率<br>現状値 (H28実績) : 100%<br>目標値 (R4) : 100% | —<br>(受入なし)         |

上十三・十和田湖広域定住自立圏第2次共生ビジョン掲載事業 進捗状況一覧表(令和2年12月末現在)  
 計画期間：平成30年度～令和4年度

資料2

| No | 事業名           | 連携市町村 |     |     |     |     |     |      |     |     |   | 事業概要   | 会議等の開催状況<br>(令和2年度)           | 取組及び進捗状況の概要<br>(令和2年度)  | 圏域の課題等  | 令和3年度以降の<br>取組の概要   | KPI目標値   | KPI現状値<br>(R2.12月末) |
|----|---------------|-------|-----|-----|-----|-----|-----|------|-----|-----|---|--|-------------------------------|---|---|---|--|---------------------|
|    |               | 十和田市  | 三沢市 | 野辺町 | 七戸町 | 横浜町 | 東北町 | 六ヶ所村 | 八戸市 | 小坂町 |   |  |                               |   |   |   |  |                     |
| 6  | 介護認定審査会事業     | ○     | ○   | ○   | ○   | ○   | ○   | ○    | ○   | ○   | ○ | 介護が必要な高齢者等が必要な介護サービスを受けることができるよう要介護等の認定を行う認定審査会業務を上北地方教育・福祉事務組合で行う。  | 介護認定審査会開催 336回<br>(予定)        | 関係市町村において、上北地方教育・福祉事務組合の運営に必要な経費を負担し、介護認定審査会を開催した。  | —   | 上北地方教育・福祉事務組合において要介護等の認定審査会を行うことにより、運営の効率化と迅速化を図り、かつ公正・適正な事務を確保し、介護を必要とする高齢者等がサービスを受給できるようにする。                  | 認定審査件数<br>現状値 (H28実績) : 9,381件<br>目標値 (R4) 公平性・効率性を確保し、現状体制を維持       | 4,294件              |
| 7  | 障害者介護給付等審査会事業 | ○     | ○   | ○   | ○   | ○   | ○   | ○    | ○   | ○   | ○ | 障害者が障害特性に応じて必要な障害福祉サービスを受けることができるよう障害支援区分の審査判定を上北地方教育・福祉事務組合で行う。   | 障害者介護給付等審査会開催 21回開催 (R2.12月末) | 関係市町村において、上北地方教育・福祉事務組合の運営に必要な経費を負担し、障害支援区分認定審査会を開催する。                                      | —   | 上北地方教育・福祉事務組合において障害者介護給付等審査会を行うことにより、運営の効率化と審査判定の迅速化を図り、かつ、公正・適正な事務を確保し、障害者が障害特性に応じて必要な障害福祉サービスを受けることができるようにする。 | 審査判定件数<br>現状値 (H28実績) : 361件<br>目標値 (R4) 公平性・効率性を確保し、現状体制を維持         | 296件                |
| 8  | 図書館相互利用促進事業   | ○     | ○   | ○   | ○   | ○   | ○   | ○    | ○   | ○   | ○ | 圏域住民に対し、圏域内での図書館において、各市町村の住民と同一の基準で所蔵資料の館外貸出を行うこと等、圏域の住民が利用しやすい図書館閲覧環境を構築する。<br>また、関係市町村の図書館ホームページにリンクを貼る等、圏域の図書館情報を住民に提供する。 | 会議等の開催なし                      | 令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として会議等を中止したため、書面にて今後の具体的な取組について各館の意見を取りまとめ、来年度の取組へ生かすよう準備を進めることとした。 | 新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、KPIは減少傾向にあるが、引き続き利用促進を図るため、圏域内の情報を発信していく必要がある。 | 継続して事業を実施すると共に、WG等でKPI目標値達成に向けた取組を検討する。   | 相互利用件数<br>現状値 (H28実績) : 512件<br>目標値 (R4) : 540件                      | 228件                |
| 9  | 図書館蔵書充実事業     | ○     | ○   | ○   | ○   | ○   | ○   | ○    | ○   | ○   | ○ | 圏域の拠点となる図書館は、幅広い蔵書の充実に努める。<br>圏域内の他の図書館は、基本的な蔵書の充実に努める。  | 会議等の開催なし                      | 今後各館との情報交換を密にし、連携を強化していく必要がある。  | 継続して事業を実施すると共に、WG等でKPI目標値達成に向けた取組を検討する。                             | 図書館利用者数<br>現状値 (H28実績) : 154,119人<br>目標値 (R4) : 163,120人  | 88,124人  |                     |
| 10 | 生涯学習情報提供事業    | ○     | ○   | ○   | ○   | ○   | ○   | ○    | ○   | ○   | ○ | 各市町村が実施している各種講座等について、圏域内の情報を収集・共有する体制を整備するとともに、広報紙やホームページなどの広報媒体を活用して地域住民への周知する体制を構築する。                                      | 会議等の開催なし                      | 情報収集や周知を行うために必要なフォーマットを作成し、試験的に実施する準備を進めている。  | 情報共有の体制の構築に時間を要している。  | 生涯学習情報の提供を試験的に実施する。   | 構成市町村のHP上で圏域内の生涯学習情報を提供<br>現状値 (H28実績) : 未実施<br>目標値 (R4) : HPで随時情報提供 | 未実施                 |



上十三・十和田湖広域定住自立圏第2次共生ビジョン掲載事業 進捗状況一覧表(令和2年12月末現在)  
 計画期間：平成30年度～令和4年度

資料2

| No | 事業名                  | 連携市町村 |     |      |     |     |     |      |     | 事業概要   | 会議等の開催状況<br>(令和2年度)   | 取組及び進捗状況の概要<br>(令和2年度)   | 圏域の課題等   | 令和3年度以降の<br>取組の概要   | KPI目標値  | KPI現状値<br>(R2.12月末)             |
|----|----------------------|-------|-----|------|-----|-----|-----|------|-----|--|---|--|--|---|---|---------------------------------|
|    |                      | 十和田市  | 三沢市 | 野辺地区 | 七戸町 | 横浜町 | 東北町 | 六ヶ所村 | 八戸市 |  |   |  |  |   |   |                                 |
| 15 | 特産品の販路拡大             | ○     | ○   | ○    | ○   | ○   | ○   | ○    | ○   | 圏域の特産物(農産物・畜産物・水産物等)に関する情報を相互に提供し合い、これらの特産物の販路拡大を図っていく。<br>また、圏域内の特産物等による地域ブランド化を推進する。 | 会議等の開催なし  | 新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、以下は中止とした。<br>・担当者会議(中止)<br>三沢市との協議を予定<br>・販路拡大イベント(中止)                  | 圏域内で生産される農産物は同じ品目が多いため相互に競争相手となり易く、競合しない販路拡大の方策を導き出すことが課題である。  | 各市町村の特産品を相互にPRする方法として、道の駅等での圏域特産品の販売コーナー設置や、学校給食事業への特産物の相互使用などの取組について検討を行う。 | 特産品開発セミナー参加者数<br>現状値(H28実績):43人/回<br>目標値(R4):80人/回<br>販路拡大イベントの来場者数<br>現状値(H28実績):50,700人<br>目標値(R4):61,600人<br>販路拡大イベントの売上<br>現状値(H28実績):7,985千円<br>目標値(R4):11,220千円 | 31人/回<br>—<br>(中止)<br>—<br>(中止) |
| 16 | 防災体制整備・地域防災計画等の情報共有等 | ○     | ○   | ○    | ○   | ○   | ○   | ○    | ○   | 大規模災害時における相互応援体制を含め圏域内の防災計画等の情報の共有を図る。<br>圏域市町村間で協議の上、段階的に合同研修や訓練等を実施する。               | ・R2.5 十和田市総合防災訓練見学会(中止)<br>・R2.10 三沢市総合防災訓練見学会(中止)<br>・R2.11 第1回情報交換会<br>・R3.2 第2回情報交換会                         | 新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、防災訓練及び見学会を中止とした。<br>情報交換会では、事前に課題等を抽出し、各市町村において実施している取組について共有・意見交換を行った。 | 防災訓練の見学や防災担当者の情報交換会は、公助である市町村の防災体制の情報共有や質の向上という面で非常に有効的であるが、共助を担う自主防災組織のスキルアップのため、どのような訓練や研修を行うのが課題となっている。 | 継続して事業を実施するほか、WG等でKPI達成に向けた効果的な取組についての検討を行う。                                | 防災訓練等の見学会回数<br>現状値(H28実績):2回<br>目標値(R4):4回<br><br>合同研修等の回数<br>現状値(H28実績):未実施<br>目標値(R4):1回  | —<br>(中止)<br><br>1回             |
| 17 | 災害時の消防出動相互応援事業       | ○     |     |      |     |     |     |      | ○   | 各消防本部管轄区域において相互応援出動による効果が期待できる地域(以下、「応援地域」)について、相互応援出動する。応援地域の実態を把握するため、必要な情報交換を行う。    | ・R2.4 消防相互応援協定開始に係る運用検討会議<br>・R2.5 消防相互応援協定に係る検証訓練<br>・R2.11 鹿角消防職員による十和田管内消防訓練の参観及び情報共有                        | 今年度新たに締結した消防相互応援協定に基づき、「応援区域」で要請等があった場合は応援出動する。  | 課題が新たに出てきた場合、問題点を共有し、改善できるよう検討・協議を進める。   | 要請があった場合の出動率<br>現状値(H28実績):100%<br>目標値(R4):100%                             | —   |                                 |
| 18 | 消防指令業務共同運用等事業        | ○     | ○   | ○    | ○   | ○   | ○   | ○    | ○   | 圏域における効果的な消防指令業務の共同運用について、更なる調査・検討を継続して実施する。   | ●上十三4消防本部消防通信指令事務協議会<br>・R2.10 第1回会議(書面)<br>●幹事会<br>・R2.4 第1回会議(書面)<br>・R2.10 第2回会議<br>●幹事会専門部会<br>・R2.12 第1回会議 | 事務協議会、幹事会(幹事会専門部会)を開催し、現状の確認や効率的な運用等について協議。<br>また、消防相互応援協定に基づく指令業務の効率的な運用について検討を実施。          | —<br><br>圏域内の消防指令業務の共同運用について、効率的な運用を図るため更なる調査・検討を継続して実施する。   | 消防指令業務の協働体制を維持し、効果的な運用を目指す。   | —   |                                 |
| 19 | 簡易水道の共同利用            | ○     |     |      |     |     |     |      | ○   | 効果的かつ効率的な簡易水道の運営を図るため、共同利用に関する研究・検討を行い、広域的な利用に向けた取組を推進する。                              | 会議等の開催なし  | 簡易水道の共同利用を行っている。   | —  | 引き続き共同利用を実施する。  | 現状の体制を維持する  | —                               |

上十三・十和田湖広域定住自立圏第2次共生ビジョン掲載事業 進捗状況一覧表(令和2年12月末現在)

計画期間：平成30年度～令和4年度

資料2

| No | 事業名          | 連携市町村 |     |      |     |     |     |      |     | 事業概要  | 会議等の開催状況<br>(令和2年度)  | 取組及び進捗状況の概要<br>(令和2年度)  | 圏域の課題等  | 令和3年度以降の<br>取組の概要  | KPI目標値                                  | KPI現状値<br>(R2.12月末) |
|----|--------------|-------|-----|------|-----|-----|-----|------|-----|---|--|---|---|--|---|---------------------|
|    |              | 十和田市  | 三沢市 | 野辺地町 | 七戸町 | 横浜町 | 東北町 | 六ヶ所村 | 小坂町 |   |  |   |   |  |   |                     |
| 20 | 消費生活相談事業     | ○     | ○   | ○    | ○   | ○   | ○   | ○    | ○   | 複雑・多様化する消費生活相談に対応するため、圏域における広域的な取組を進める。   | R2.10 上十三地区(十和田ブロック)消費生活相談業務に係る連絡調整会議  | 十和田市消費生活センター、三沢市消費生活センターへ、関係町村の消費相談事務を集約して実施している。   | 平成27年度から広域化を開始し、相談件数は徐々に増加してきている。相談窓口である消費生活センターについて圏域住民へ周知することが必要である。  | 今後も継続して消費生活センターの広域利用を進め、圏域内の消費者相談の充実や消費生活に関する情報の提供、啓発に努める。   | 相談件数<br>現状値(H28実績)：550件<br>目標値(R4)：730件 | 468件                |
| 21 | 生活交通路線維持事業   | ○     | ○   | ○    | ○   | ○   | ○   | ○    | ○   | 圏域内を結ぶ路線バス等の生活路線を維持するため、運行事業者等に対して支援を行う。また、コミュニティバスの利用環境整備及び利用促進に取り組む。公共交通ネットワーク会議において、圏域内の交通施策の課題整理を行うとともに、持続可能な交通網の構築に向けた研究・検討を行う。  | ●公共交通ネットワーク会議<br>・R2.10 第1回会議開催<br>・R2.12 第1回課長会議開催  | 圏域内における持続可能な交通網の構築に向けて、公共交通ネットワーク会議において、意見交換を行う。<br>また、圏域内を結ぶ路線バス等を維持するため、運行事業者等に対して支援を行う。<br>コロナ禍において、事業者から支援の申し出があったため、担当課長会議で対応について意見交換を行った。 | 生活交通路線維持事業のための補助金が年々増加傾向にあり、バス利用に向けての啓発も必要である。将来的には、圏域の市町村間の公共交通の接続についての検討も必要。<br>交通事業者の運転手不足も深刻になっている。<br>コロナ禍により、交通事業者の事業収益が悪化しており、路線の廃止や統合などが必要となっている。 | 補助対象となる路線バス系統数<br>現状値(H28実績)：30系統<br>目標値(R4)：30系統            | 34系統                                    |                     |
|    |              |       |     |      |     |     |     |      |     |   |  |   |   | コミュニティバス利用者数<br>現状値(H28実績)：363,494人<br>目標値(R4)：363,000人      | 230,372人                                |                     |
| 22 | 二次交通の整備・充実事業 | ○     | ○   | ○    | ○   | ○   | ○   | ○    | ○   | ●公共交通ネットワーク会議<br>・R2.10 第1回会議開催<br>●三沢空港振興会<br>・R2.4 第1回幹事会<br>・R2.5 定例総会<br>●七戸十和田地域公共交通会議<br>・R2.6 第1回会議<br>●七戸十和田奥入瀬シャトルバス運行協議会<br>・R2.5 第1回運行協議会(書面)<br>・R2.5 第2回運行協議会<br>・R2.12 第3回運行協議会 | 三沢空港乗合タクシーの運行、七戸十和田駅から十和田市及び六ヶ所村までの乗合タクシーの運行、期間限定での焼山地区までのシャトルバスの運行により、交通拠点からの二次交通の充実に取り組む。  | 三沢空港乗合タクシー等を継続的に運行し、交通拠点からの二次交通の充実に取り組む。  | 二次交通利用者数<br>現状値(H28実績)：3,655人<br>目標値(R4)：3,700人   | 1,543人   |   |                     |
| 23 | 青い森鉄道利用促進等事業 | ○     | ○   | ○    | ○   | ○   | ○   | ○    | ○   | ●青い森鉄道利活用推進協議会<br>・R2.5 担当課長会議(書面)<br>・R2.5 総会(書面)<br>●三沢駅周辺整備関係<br>・R2.4 交通ターミナル供用開始<br>・R2.8 全面供用開始(予定)   | ●青い森鉄道線利活用推進協議会<br>県を主体に沿線自治体、事業者が連携し、青い森鉄道及び沿線地域の活性化を図る各種事業を展開する。(鉄道の日行事、フォトコンテスト、グッズ制作、環境整備等)<br>●三沢駅周辺整備関係<br>関係機関や事業者との協議・調整を図り、土木工事等を進める。 | —   | 関係機関及び関係市町村と連携し、青い森鉄道の利用促進活動等に取り組む。また、青い森鉄道の利便性向上及び利用環境改善のため、駅間連絡施設及び駅周辺施設等の整備を図る。  | 青い森鉄道下田駅～野辺地駅乗車人員<br>現状値(H28実績)：889,298人<br>目標値(R4)：889,000人 | 814,575人<br>(令和元年度)                     |                     |

上十三・十和田湖広域定住自立圏第2次共生ビジョン掲載事業 進捗状況一覧表(令和2年12月末現在)

計画期間：平成30年度～令和4年度

| No | 事業名              | 連携市町村 |     |      |     |     |     |     |      |     |     | 事業概要   | 会議等の開催状況<br>(令和2年度)   | 取組及び進捗状況の概要<br>(令和2年度)   | 圏域の課題等  | 令和3年度以降の<br>取組の概要   | KPI目標値   | KPI現状値<br>(R2.12月末)  |                |
|----|------------------|-------|-----|------|-----|-----|-----|-----|------|-----|-----|--|---|--|---|---|--|--|----------------|
|    |                  | 十和田市  | 三沢市 | 野辺地町 | 七戸町 | 六戸町 | 横浜町 | 東北町 | 六ヶ所村 | 八戸市 | 小坂町 |  |   |  |   |   |  |  |                |
| 24 | 道路等のインフラ整備に関する要望 | ○     | ○   | ○    | ○   | ○   | ○   | ○   | ○    | ○   | ○   | 圏域内の市町村間を繋ぐ幹線道路等のインフラ整備に関する要望活動を圏域として一体的に行う。   | ・R2.4 第1回担当課長会議(書面開催)<br>・R2.8 第2回担当課長会議<br>・R2.10 道路整備要望活動の実施    | 圏域市町村長等が、道路整備予算の確保、上北自動車道の整備促進、下北半島縦貫道路の整備促進等の要望活動を実施する。   | 圏域の生活機能の維持・強化のため、インフラ等の整備に係る関係市町村の動向を情報共有しながら、一体的に要望活動を実施していくことが必要。                   | 今後も引き続き、圏域における要望事項の確認・検討し、要望活動を実施していく。  | 要望活動実施回数<br>現状値(H28実績)：年1回<br>目標値(R4)：年1回以上  | 1回   |                |
| 25 | 三沢空港振興会事業        | ○     | ○   | ○    | ○   | ○   | ○   | ○   | ○    | ○   | ○   | 三沢空港の利便性向上のため、発着路線の拡充など関係機関への要望活動やプロモーション活動等を実施する。<br>需要を喚起するための利用促進活動及びPR活動等を積極的に実施する。  | ・R2.5 第1回幹事会(書面開催)<br>・R2.5 定例総会(書面開催)<br>・R2.10 第1回担当課長会議        | 利用促進事業として、旅行商品を企画・造成する者へ対する助成を実施。<br>PR事業として、就航先都市や広告媒体を通じた各種PR活動を実施。<br>三沢空港発着便に接続する二次交通手段を維持するため、運行事業者に対して支援を実施。 | —   | 構成市町村の連携・協体制を確保し、利用促進活動等を積極的に実施する。  | 搭乗率<br>現状値(H28実績)：69.7%<br>目標値(R4)：72.8%   | 39.5%  |                |
| 26 | 公共施設の相互利用促進事業    | ○     | ○   | ○    | ○   | ○   | ○   | ○   | ○    | ○   | ○   | 関係市町村の文化・スポーツ施設等のうち、圏域住民が利用する施設と位置づける施設について検討・調整を行い、まずは、圏域間で施設の利用情報について共有し、市町村民と市町村外住民に使用料金格差を設けているなどの制約がある場合には、段階的にその調整を図り、圏域内施設の相互利用促進を図る。 | R2.6<br>・公共施設一覧更新調査   | 「圏域公共施設相互利用一覧」のデータを更新し、圏域で共有する。  | —   | 現状の情報共有体制を維持しながら、公共施設相互利用率の向上に努める。<br>(料金格差の是正については、29年度のWG会議にて、各市町村の事情から、困難としている。) | 相互利用率<br>現状値(H28実績)：4.6%<br>目標値(R4)：5.0%   | 8.2%<br>(R1実績)   |                |
| 27 | 美術館等入館促進事業       | ○     | ○   | ○    | ○   | ○   | ○   | ○   | ○    | ○   | ○   | 十和田市現代美術館、寺山修司記念館、鷹山宇一記念美術館において、相互にポスターやチラシの掲示を行うほか、各種SNSによるPRを行う。   | 会議等の開催なし  | 連携各館において、相互にポスターやチラシ掲示を行うほか、各種SNSによるPRを行う。   | —   | 引き続き、相互のポスターやチラシ掲示のほか、SNSによるPRを継続していく。  | 年間入館者数<br>現状値(H28実績)：180,393人<br>目標値(R4)：185,000人  | 88,921人  |                |
| 28 | 移住情報の発信・PR事業     | ○     | ○   | ○    | ○   | ○   | ○   | ○   | ○    | ○   | ○   | 圏域への移住の促進を図るため、圏域の魅力や生活に関する情報などの移住情報を一体的に発信する。   | ・R2.6 第1回担当課長会議<br>・R2.7 第1回WG<br>・R2.10 第2回担当課長会議<br>・R3.2 第2回WG | ※新型コロナウイルス感染拡大防止対策として中止  | ・東京都で開催される「東北U・1ターン大相談会」への合同出展。<br>・帰省者を主な対象とした、「移10生活パンフレット」や「各自治体移住パンフレット」等の配布・PR。  | 圏域への移住の促進を図るため、圏域の移住に関する情報発信を強化する必要がある。   | 移住促進及び結婚支援をするための協議会を設立し、以下の事業を実施するほか、WG等でKPI達成に向けた効果的な取組についての検討を行う。<br>・東京都で開催される「東北U・1ターン大相談会」への合同出展。 | 市町村の移住相談窓口における相談件数(件)<br>現状値(H28実績)：138件<br>目標値(R4)：現状値より増加      | 671件<br>(R1実績) |
|    |                  |       |     |      |     |     |     |     |      |     |     |  |   | ・R2.6 第1回担当課長会議<br>・R2.7 第1回WG<br>・R2.10 第2回担当課長会議<br>・R3.2 第2回WG  | ※新型コロナウイルス感染拡大防止対策として中止   | ・東京都で開催される「東北U・1ターン大相談会」への合同出展。   | ・移住情報を発信するための広報媒体の作製。<br>・圏域市町村合同による「婚活イベント」を圏域内で1回開催。   | 市町村の支援施策を利用した圏域外からの移住者数(人)<br>現状値(H28実績)：110人<br>目標値(R4)：現状値より増加 | 234人<br>(R1実績) |
| 29 | 結婚活動支援事業         | ○     | ○   | ○    | ○   | ○   | ○   | ○   | ○    | ○   | ○   | 連携して結婚活動支援に取り組む、圏域の結婚を希望する独身男女の成婚を促進し、定住人口の増加を図る。  | —   | ※新型コロナウイルス感染拡大防止対策として中止<br>・圏域市町村合同による「婚活イベント」を圏域内で1回開催。   | 圏域全体で婚活を応援する個人・団体等の掘り起こしを進める必要がある。<br>結婚を希望する独身男女が望むサポートを広域連携のスケールメリットを活かし、提供する必要がある。 | ・移住情報を発信するための広報媒体の作製。<br>・圏域市町村合同による「婚活イベント」を圏域内で1回開催。                              | 婚姻率<br>現状値(H27実績)：4.3<br>目標値(R4)：現状値より増加   | 4.0<br>(R1実績)  |                |

上十三・十和田湖広域定住自立圏第2次共生ビジョン掲載事業 進捗状況一覧表(令和2年12月末現在)  
 計画期間：平成30年度～令和4年度

資料2

| No | 事業名       | 連携市町村 |     |      |     |     |     |     |      |     |     | 事業概要   | 会議等の開催状況<br>(令和2年度) | 取組及び進捗状況の概要<br>(令和2年度)   | 圏域の課題等  | 令和3年度以降の<br>取組の概要                                  | KPI目標値   | KPI現状値<br>(R2.12月末) |
|----|-----------|-------|-----|------|-----|-----|-----|-----|------|-----|-----|--|---------------------|--|---|--|--|---------------------|
|    |           | 十和田市  | 三沢市 | 野辺地町 | 七戸町 | 六戸町 | 横浜町 | 東北町 | 六ヶ所村 | 八戸市 | 小坂町 |  |                     |  |   |  |  |                     |
| 30 | イベント交流の促進 | ○     | ○   | ○    | ○   | ○   | ○   | ○   | ○    | ○   | ○   | 圏域におけるイベント情報や地域資源を共有し、祭りや各種イベント等において周知宣伝活動を行うとともに、相互交流に取り組む。                                 | 会議等の開催なし            | 平成25年12月号の広報から「ぐるっとNAVI～上十三・十和田湖広域定住自立圏情報～」を圏域全市町村にて掲載している。<br><br>※新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、各種イベントが中止となり掲載するイベント情報が減少 | 各市町村の広報紙に「ぐるっとNAVI」を掲載することで、イベントの周知が図られ、他市町村および県外からの参加を促し、圏域全体の活性化・交流促進につながっているが、市町村によっては紙面のスペースが確保できず、毎月掲載できない場合もある。 | 引き続き、各市町村の広報紙に「ぐるっとNAVI」を掲載し、各市町村のイベント情報等の周知宣伝を行う。 | 各広報誌の「ぐるっとNAVI」に掲載したイベント情報数<br>現状値(H28実績)：543件<br>目標値(R4)：600件 | 142件                |
| 31 | 職員研修交流事業  | ○     | ○   | ○    | ○   | ○   | ○   | ○   | ○    | ○   | ○   | 各市町村において実施している職員研修に、他の関係市町村の職員を受け入れる。また、必要に応じ、合同で行うことが効率的、効果的とされたテーマについては、合同での研修を企画立案し、実施する。 | R2.5 書面協議           | 圏域市町村対象とした研修を実施する。   | 多くの市町村の職員が、研修に参加できるような仕組み又は雰囲気づくりが必要となっている。また、周知しているが、研修会に参加する職員が少ない。   | 引き続き、職員の資質向上のため研修参加機会を提供し、圏域市町村職員の研修参加を促す。         | 研修参加人数(広域参加)<br>現状値(H25～27平均実績)：70人<br>目標値(R4)：70人             | 0人                  |
| 32 | 職員人事交流事業  | ○     | ○   | ○    | ○   | ○   | ○   | ○   | ○    | ○   | ○   | 関係市町村において協議の上、必要に応じて職員の相互交流(派遣)を行う。  | R2.5 書面協議           | 必要に応じて個別協議する。  | 圏域自治体の職員数が減少している中、長期に渡る人事交流は、派遣側、受入側双方の人員面や、組織機構の違いが課題となっている。   | 人事交流を必要とする市町村間での個別協議とする。                           | 現状の検討体制を維持する   | —                   |